

エコニュース さって



第 7 3 号
平成 30 年 1 月 12 日
さって市民環境ネット
TEL 48-0331

「エコライフDAY 2017」を実施して

報告：坂本

1 エコライフDAYとは

エコライフDAYとは、省エネ・省資源など環境に配慮した行動を1日体験してみることです。エコライフDAYチェックシートを利用し、それぞれが行動したことによって削減した二酸化炭素量が計算できるようになっています。

埼玉県では2005年からこの事業を実施しており、2017年で13年目を迎えました。幸手市においても、市民こぞって環境を保全するという意味から、この運動を推進しています。

2 実施日及び対象

実施日は、7月初旬の1日です。

対象は、つぎのとおりです。

- ① 市内の小中学生、高校生及びその家族並びに教職員
- ② 一般市民
- ③ 事業所・各種団体の職員
- ④ 市役所職員

3 チェックシートの仕組み

環境に配慮した行動例とその行動によって削減された二酸化炭素の量を（g）にて示しています。

- ① 部屋を出るときは明かりを消した。（36g）
- ② お湯や水を流しっぱなしにしないで、こまめに止めた。（52g）
- ③ 買い物するとき、レジ袋をもらわずマイバックを使った。（56g）など
（小学1年生から3年生まで項目10、4年生以上項目20です。）

4 エコライフDAY参加者数と二酸化炭素削減量の推移

	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
参加者（人）	7,725	7,140	6,499	5,932	6,835	5,722	6,614
削減量（kg）	4,834	4,417	4,468	4,021	5,210	4,008	5,123

今年のエコライフDAY参加者数は6,614人で、昨年より率にして15.6%増となりました。また、二酸化炭素削減量は5,123kgで、27.9%増となりました。今年、参加者と削減量が増えた要因は、昨年は事業所に対しチェックシートを配布しなかったが、今年は配布し、参加を呼びかけたことにあると思います。

幸手市の人口が10月1日現在で、52,059人であり、参加者が6,614であるから参加率は12.7%となります。PRの仕方次第で、まだ増やせる余地はあると思います。

5 エコライフDAYの役割

温暖化が進むと干ばつや大雨が集中的に発生し、お米や野菜が育たなくなったり、台風の発生が増えたりします。温暖化の原因は、人間活動によって排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの増加です。エコライフDAYは、毎日の身近な生活の中から二酸化炭素の発生を抑制する運動です。多くの皆さんに参加していただき、素晴らしい環境を次の世代に引き継ぎましょう。

「第 37 回幸手市健康福祉まつり」に参加して

報告：坂本

平成 29 年 11 月 5 日（日）、幸手市と社会福祉協議会の共催による第 37 回幸手市健康福祉まつりがウェルス幸手を会場として開催されました。このまつりの目的は、健康、福祉、社会貢献活動に触れることにより、これらについて、市民の関心を深めるとのことにあります。

さって市民環境ネットでは、ボランティア団体として、年間を通じた活動を紹介しました。

- ・環境学習コーナーでは、ハウネンエビの生態を大きな写真で紹介しました。その不思議な美しさに多くの市民も感動していました。
- ・ジオラマコーナーでは、宇和田公園から古川橋を経て玉子橋までのジオラマで展示し、中川の豊かな自然を表現しました。
- ・緑のカーテンコーナーでは、南公民館でのゴーヤの栽培の記録を写真で展示し、植物のもたらす快適さ、安らぎを表現しました。また、ゴーヤの種を配布し、好評でした。
- ・腐葉土コーナーでは、腐葉土の見本展示をし、それを用いた野菜づくりを写真で紹介しました。
- ・エコライフ DAY コーナーでは、ヒマラヤ氷河の後退する写真と今年のエコライフデー参加者数及び二酸化炭素削減量を紹介しました。皆さん、今年もエコライフ DAY に参加してください、有り難うございました。



説明する環境ネットスタッフ



学習する市民の皆さん

毎年恒例のクイズラリーも好評でした。問題に対する解答がどこか、どこがポイントか理解して頂いたようです。クイズラリーに参加しての多くの前向きなコメントと頂きましたが、次に一例を記載します。・知らないことがたくさん分かってよかった。・一人で毎日 800g ちがいゴミを捨てている事実を知り驚いた。・ゴミを出さない工夫をします。・ヒマラヤ桜の花を見るのが楽しみです。・日々の生活に追われ、うっかりしていることが分かってよかった。・さって市民環境ネットの多岐にわたる展示、活動が素晴らしいと思った。

全体の評価は、①良かった；402 名（81.2%）、②ふつう；61 名（12.3%）、③つまらない；3 名（0.6%）、④記入なし；29 名（5.9%）であった。

当日は、さって市民環境ネットの事業活動内容を多くの市民の皆様が見てくださったこと、この場を借りて感謝申し上げます。

クイズラリー参加結果（数字は人数です。）

	就学前	小学	中学	高校	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 以上	不明	計
男	10	24	2	3	3	10	9	7	9	13	15	105
女	16	50	2	1	7	33	24	13	31	25	68	270
不明	4	21	0	0	0	1	0	1	2	6	85	120
計	30	95	4	4	10	44	33	21	42	44	168	495

第2回市民環境講座／環境学習見学会 報告：澤村

－ アサヒビール茨城工場、茨城自然博物館 －

11月8日（水）朝8時40分、バスは幸手市役所を出発しました。天気は曇りで少々寒い日でした。一行は、一般市民23名、さって市民環境ネットスタッフ4名、環境課職員2名の総勢29名でした。目的地は、午前中、アサヒビール茨城工場（守谷市）、午後、茨城自然博物館（坂東市）です。

茨城工場は平成3年にオープンし東京ドーム9個分の約13万坪の敷地を有して、国内8工場の中で最大かつ最新鋭の施設を有す工場とのことです。冒頭に会社全体の沿革と事業概要、茨城工場の事業概要が大きなスクリーンで案内があり、ビールの重要な資源である水資源の保全と自然保護に取り組んでいるとの説明がありました。その後、女性ガイドの案内で、①仕込み工程、②発酵・熟成工程、③ろ過工程と④包装工程の説明を受けました。環境についての具体的事項として、二酸化炭素の排出抑制にグリーン電力（太陽光発電、バイオマスなどの再生可能なエネルギー）の活用、生産工程での省エネ・省資源をしており、特に、ビール製造に最もエネルギーを要する仕込み工程（原料の麦芽、ホップ等の煮沸）で世界初の新技術を開発・導入して時間短縮をして省エネしているとのことでした。また3R（リデュース、リユース、リサイクル）にも積極的に取り組み、工場では100%リサイクル（ゼロエミッション）として、50種以上の分別容器と副産物・廃棄物再資源化を行い、そして水資源の「安全管理」と「有効利用」、「水質管理」から、ビールの大切な原料の一つである水資源の保全に取り組んでいます。

工場見学最後の行程は、楽しみにしていた絞りたてのビールの試飲でした。ビールを飲めない人、飲まない人はソフトドリンクを飲みました。ビールは大きなグラスで、最初はスーパードライ、2杯目以降は好みでスーパードライブラック、ドライプレミアム豊醸と3杯まで飲むことができ、3杯飲んだ人もいました。帰り際に工場見学記念として、構内の売店でお土産商品を買った人が多くいました。

工場を後にして、茨城自然博物館見学に向いました。昼食には弁当持参の方もいましたが、館内のレストランで予約した弁当（安価でしたが美味しかった）を食べました。

館内の見学は自由行動でした。博物館の展示内容は、①進化する宇宙、②地球の生い立ち、③自然の仕組み、④生命の仕組み、⑤人間と環境、と非常に広範囲で、1日でも見きれない内容でした。見学時間が2時間でしたので見学者の皆さんは関心のあるものを絞って見たと思います。筆者は、一回りして③自然の仕組みの生態系、⑤人間と環境を少し詳しく見ました。特に、生きた化石と言われている“シーラカンス”（魚類）について東工大研究チームの調査研究で、体液に手足の出る遺伝子と海中では必要ない匂いの遺伝子が存在することを発見したことは、新たに勉強になりました。

なお、今回は、車内研修として環境課から、地球温暖化防止推進のために実施した「エコライフDAY2017」の集計結果（内容は広報さって11月号及び本号を参照）について報告、さって市民環境ネットスタッフからエコライフDAY2017実施全項目の説明・コメント、さらに一部の小学校感想文の報告・コメントを行うと共に地球温暖化の背景・現況・未来予測を話し、そして来年度のエコライフDAY実施参加へのお願いをしました。

今回の見学会も広い視野から、環境と自然について学習でき、これからも環境保護、自然保護の大切さを知ることができて大変有意義な見学会となりました。主催した環境課に深く感謝申し上げます。



アサヒビール茨城工場環境学習見学会



美味しいビールの注ぎ方の説明

第 160 回腐葉土と野菜づくりの会

報告：澤村（以降、同じ）

10月8日（日）臨時に開催。9時開始、天気；晴、出席数；16名

今回の内容：①第1回エダ（奥）マメの収穫；10数株／束・人として頒布、2束目の欲しい人には運営資金確保のため、現金200円で頒布。お世話になっている方には1束～2束お礼をしました。②ダイコンの間引き；1つの穴に3粒ずつ播いたタネが大半が発芽して順調に育っていたので、元気な苗1本を残して間引きしました。

10月18日（水）：9時開始、天気；晴、出席者数；14名

今回の内容：①第2回目のエダ（奥）マメの収穫；15日（日）予定しましたが、雨天のためとマメが実り過ぎないため3日延期にて実施。②ケヤキ、クヌギなどの落ち葉がまだ少なく、環境課に収集して貰いました残ったサクラの落ち葉で二基目の腐葉土の仕込みを実施。②今年も、無農薬でエダマメへの虫入りは少なく、大収穫でした。会員の皆さんは、食べ切れずに冷凍保存してビールのつまみやごはんに入れて美味しく食しているとのこと。

第 161 回腐葉土と野菜づくりの会

11月19日（日）9時開始、天気；晴、出席者数；14名

今回の内容：①第二基、第三基腐葉土の仕込み；桜泉園内のケヤキやクヌギの落ち葉が沢山落ちていて、環境課とグランドゴルフ会員に収集して頂いていましたので、それを使って米ぬか、鶏ふん、水を挟みながら第二基、第三基の仕込みを行いました。②タマネギ苗約1,000本（ジョイフル本田で購入）の植付け；今回は、地主がトラクター更新のため畑の耕しが出来なかったため、自分達でマンノ、クワを使って土を掘り起し、鉄製くま手でならした後、5孔のマルチフィルムに合せて畝を作り、フィルムを張りました。フィルムが風で飛ばないように畝の両側に土を寄せ、更にUピンで固定しました。細い支柱の先でフィルムの孔を通して穴をあけ、タマネギ苗を深過ぎないように植付けました。畑には10日前に、苦土石灰を少々、鶏ふん（堆肥代わり）、化成肥料を元肥えとして播きました。

【会員募集中！】環境保全活動と一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。〔さって市民環境ネット〕★問合わせ先；久保田 修（代表）まで TEL 0480-42-1264

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会（いきがい大学伊奈学園20期）